



相浦愛宕市のパレードでも、チンドン「我楽多家（がらくたや）」は人気者

九じろうの取材日記

親子のつどい



子どもたちの大好きなアニメの曲に合わせて体を動かす「サンサン体操」

「みんなDeしゅうDe子育てBa!」を合言葉に、子育てサークルネットワークさせほの主催で毎年1回開催される「親子のつどい」が、3月7日、コミュニティセンター2階・小体育室で行われ、約二百人の親子が参加しました。

子どもたちとスキンシップを図る親子ふれあい遊び



「ぼちぼち夢クラブ」の人形劇



遊びを通して親子の触れ合い
この日、親子は触れ合いながらたくさん遊びを楽しみました。まず、大野地区で活動する「ぼちぼち夢クラブ」の大型紙芝居と人形劇では、大きくて迫力のある絵と、愛らしい人形が子どもたちの興味を引きました。中には身を乗り出して見入ったり、歌に合わせて一緒に手拍子したりする子どももいました。次は、子どもたちとスキンシップを図る親子ふれあい遊び

プを図りながら行う親子ふれあい遊び。参加者のお父さんやお母さんは、子どもをおんぶして輪になって歩き

このほか、手作りの箱そりに子どもを乗せて競争する箱そりラリーや、エプロンの上で人形劇を行うエプロンシアターなどがあり、子どもたちは飽きることなく楽しんでいました。中村真智子さん（名切町）は、娘の結里彩ちゃん（1才）と今回初めて参加しました。「家では1対1で遊ぶことが多いので、大勢の人たちに囲まれて遊ぶ雰囲気



箱そりラリー

◀エプロンシアター

味わえるのがいいですね。家ではなかなか見ることができない大型紙芝居も楽しかったです」と話しました。また、娘の凛ちゃん（4才）や凧ちゃん（7カ月）と一緒に参加した亀崎智美さん（天神4丁目）は、「普段は近所の子と遊ぶと遊んだり、月に2回育児サークルに通ったりしています。親子のつどいに参加するのは3回目ですが、子どもがすごく喜ぶんですよ」と話し、凛ちゃんも「サンサン体操が一番楽しかった」と、元気に答えてくれました。会場には、遊びを通して触れ合う親子の笑い声が絶えませんでした。また、遊びだけでなく、保護者同士の交流の場にもなりました。

編集長から一言

表紙写真は、街おこしのため相浦町民で結成したチンドン「我楽多家」。名前の由来は、クッキーの空き缶や桶など、身近にあるガラクタで楽器を作ったというエピソードからでした。最初の取材から6年経ち、化粧の下の笑顔に懐かしさを覚えた一枚です。（A）



PUBLIC RELATIONS SASEBO

広報 **させぼ**
No.653

させぼ



広報させぼ 編集長「キューちゃん」

特集 交流活動で育てよう
子どもたちの心

12～15 p

今月の主な内容

- 新佐世保市の誕生、施政方針など 2～9 p
- 市民の広場 10～11 p
- イベント、施設だより 16～17 p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 26～27 p
- 九じろうの取材日記 28 p

4月

2005 April

広報 **させぼ**

平成17年4月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184
〒857-8585 (市役所専用) 長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/サン印刷株式会社



この「広報させぼ」は古紙配合率100%の再生紙と大豆インクを使用して印刷しています。